

単元名

## 「反対意見を想定して、意見文を書く」

挑戦問題 『相手の意見を変える、ポスターセッションに挑戦しよう。』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働

1 対象 第2学年1組 男子5名 女子12名 計17名

2 単元で目指す学ぶ姿

単元で学ぶ「反対意見を想定した、意見文を書く」ための知識や技能を活用し、協働して、説得力のあるポスターセッションの発表をする姿。

＜単元で生徒と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック＞

現学習指導要領	資質・能力	評価	評価基準
言語に関する事項	知識・技能 知識技能言語に関する事項ア	S	文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について理解し、自分でことわざや故事成語を考え、自分のポスターに効果的に活用できる。
		A	文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について理解し、自分のポスターに活用できる。
		B	文章の構成や論理の展開、表現の効果について理解できる。
		C	文章の構成や論理の展開、表現の効果について理解することができない。
読むこと書くこと 話すこと聞くこと	情報収集 判断 書くこと オ	S	表現の工夫やその効果について、読み手からの助言を踏まえ、自分たちのポスターの良い点や改善案を考えることができる。
		A	表現の工夫やその効果について、読み手からの助言を踏まえ、自分たちのポスターの良い点や改善点を見いだすことができる。
		B	表現の工夫やその効果について、相手や自分のポスターの良い点やわかりにくい点を見いだすことができる。
		C	表現の工夫やその効果について、相手や自分のポスターの良い点やわかりにくい点を見いだすことができない。
	思考 表現 書くこと ウ	S	根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたりして、ことわざや故事成語などを用いるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫できる。
		A	根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたりして、ことわざや故事成語などを用いることができる。
		B	根拠や具体例を加え、ことわざや故事成語などを用いることができる。
		C	根拠や具体例を加えたり、ことわざや故事成語などを用いたりすることができない。
関心・意欲・態度	挑戦 探究	S	反対意見の人も説得できる、ポスターセッションをすることができる。
		A	反対意見の人も説得できる、ポスターセッションに挑戦することができる。
		B	説得力のある意見文の手法を入れたポスターセッションに挑戦することができる。
		C	説得力のある意見文の手法を入れたポスターセッションに挑戦しようすることができない。
	責任 使命	S	社会にあるグレイゾーンの課題について、自分事として解決しなければならないという責任感を持つことができる。
		A	社会にあるグレイゾーンの課題について、解決しなければならないという責任感を持つことができる。
		B	社会にあるグレイゾーンの課題について、自分なりの考えを持つことができる。
		C	社会にあるグレイゾーンの課題について、自分なりの考えを持つことができない。
	協力 協働	S	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かして自分たちの意見をまとめ、反対意見の人を説得できるポスターを作成できる。
		A	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かして、自分たちの意見をまとめ、ポスターを作成できる。
		B	他の人と協力し、ポスターを作成できる。
		C	他の人と協力できず、ポスターを作成できない。

## 【評価方法】

生徒には、上の資質・能力のルーブリックのAとS基準を示し、意欲を喚起させ、単元の最後の自己評価に教師の評価を加える。(授業観察、ワークシート)

## 3 単元について

### (1) 単元観

本単元では、書くこと一ウ「根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたりして、ことわざや故事成語などを用いるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」、及び、書くこと一オ「表現の工夫やその効果について、読み手からの助言を踏まえ、自分たちのポスターの良い点や改善点を見いだすこと」を狙い設定した。授業の初めに、地域の偉人である宇都宮黙霖が、吉田松陰の意識を変え、明治維新へと進んでいくことができた史実に触れ、意見や立場の違う人に、自分の意見や主張を伝え、さらには相手の意見を変えるということが自分たちにも可能かどうかを考えさせる。説得力のある意見文を書いたり、発表をしたりすることの重要性を学ぶ意識を持たせ、一年次に学んだ「図表を用いて意見文を書く」に加えて、他にどんな方法があるかという課題意識を持たせる。「フロン規制の物語—<杞憂>と<転ばぬ先の杖>のはざままで—」を読む。その題材から、フロンガスに関する相反する主張と、その問題解決に至る経緯を捉え、本文における小見出しの効果や情報の整理の仕方、言い回しの特徴や工夫点を指摘し、読むこと一エ「観点を明確にして、文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること」を学び、説得力ある意見文を書くための方法を読み取る。

さらに、指摘した表現の工夫や効果を自分の表現に生かし、「フロン規制の物語—<杞憂>と<転ばぬ先の杖>のはざままで—」の本文の中に出てくる、社会的な「グレーゾーン」の事柄について、身近な問題を見付け、情報を収集し、整理分析し、自分の意見を組み立て、ポスターセッションとしてまとめる。小見出しを用い、相反する事実や事柄を並べ、分かりやすく説得力のあるポスターセッションの活動に挑戦する。

### (2) 生徒観

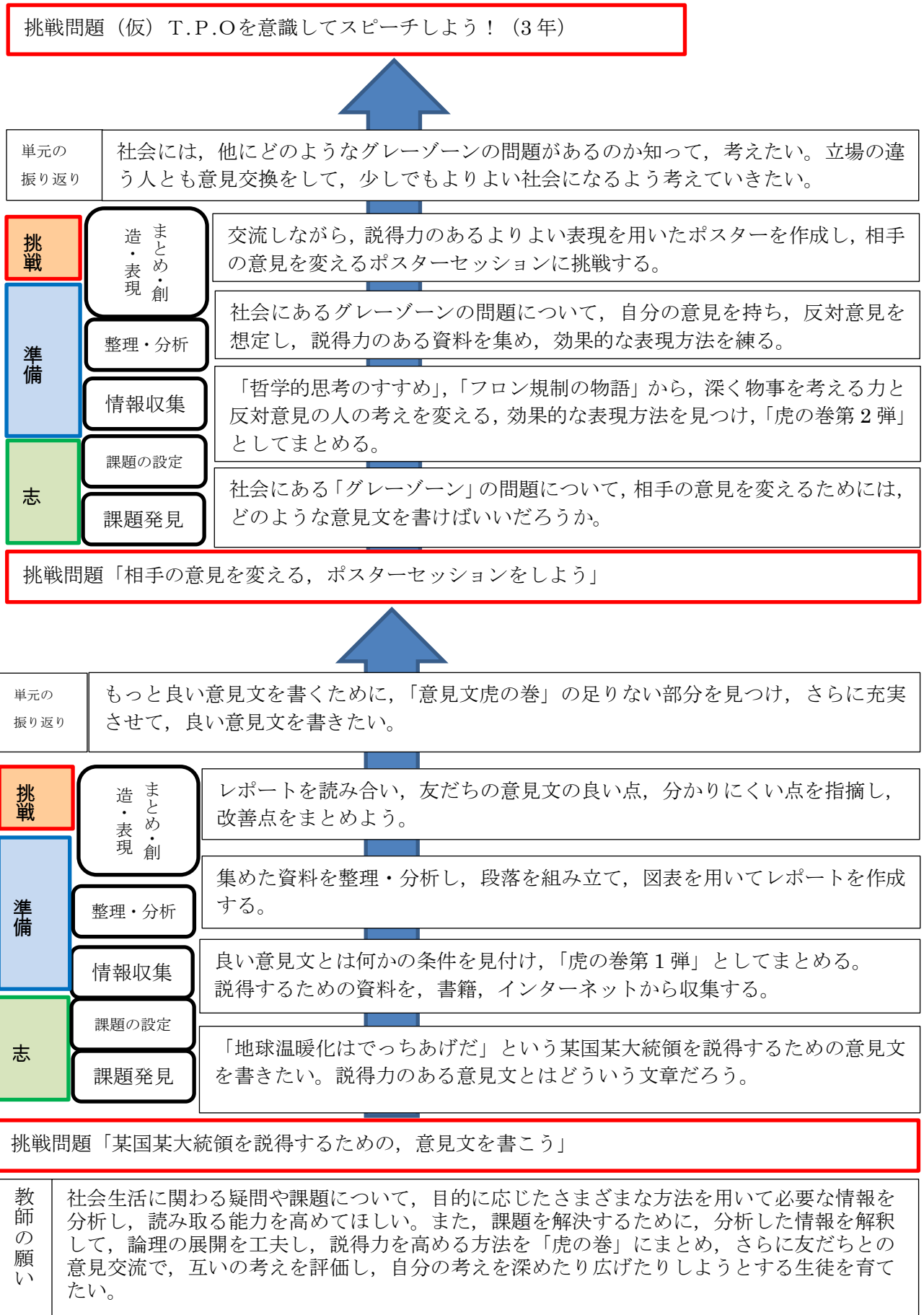
6月に行われた「基礎・基本」定着状況調査では、事象や行為などを表す多様な語句に関する問題の正答率が52.9%、要旨の把握について、40字でまとめる問題の正答率64.7%であった。多様な語句を使えること、要旨や自分の考えを的確にまとめる力をつける必要がある。また、「生活と学習に関する意識・実態」では、「授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている」では、肯定的評価が高い。「よくあてはまる」58.8%、「ややあてはまる」41.2%）しかし、「国語の授業では、伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てて文章を書いている。」の項目では、肯定的評価は88.2%で、県平均72.2%を越えてはいるが、「ややあてはまらない」割合も、11.8%いる。この実態を踏まえて、説得力ある文章を書く力をさらに付けていきたいと考える。

昨年度、この学年では、「表やグラフを用いて、説得力のある意見文を書く」という単元で、「本当に二酸化炭素によって地球温暖化は進んでいるのか」というテーマで意見文を書いている。その際、説得力のある意見文を書くための「虎の巻第1弾」を作成しており、本年度は、その「虎の巻」にさらに加筆し、説得力のある意見文を書くための知識や技能を積み重ねていく活動を取り入れている。

(3) 指導観

指導にあたっては、次の5つのポイントで授業改善をすすめる。

- ① 挑戦問題から始まる課題発見・解決学習の流れを下記の貫きカリキュラムで3年間の単元を接続する。



## ② 振り返り時間（5分）の充実

ICTの活用により効果的で効率的な授業展開を行うことで振り返り時間を確保する。

## ③ 自学自習への意欲を引き出す予習課題・復習課題の設定

予習課題で、素材と素材を比較し、自分の意見や考えを持つ時間を確保しておく。授業では、その考えを発表し、気づきを深める交流の場を設定する。

## ④ ワークシートづくり・ノート指導

「フロン規制の物語」では、説得力のある意見文を書くための、文章の展開の仕方や表現の工夫について自分の考えをまとめられるようなノートづくりを指導する。

## ⑤ 評価の工夫

広南学園の資質・能力のSルーブリックを活用し、教科の目標に準拠した評価活動を行う。

## 4 単元の目標

### B書くことーウ

根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたりして、ことわざや故事成語などを用いるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

### 書くことーオ

表現の工夫やその効果について、読み手からの助言を踏まえ、自分たちのポスターの良い点や改善点を見いだすことができる。

### C読むことーエ

観点を明確にして、文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。

## 5 単元の評価規準と適用する資質・能力

関心・意欲・態度	書くこと	読むこと	言語に関する事項
社会にあるグレーゾーンの課題について、自分事として自分の考えを持ち、解決しなければならないという責任感を持っている。(責任・使命)	ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたりして、ことわざや故事成語などを用いるなどして、文章を工夫している。(思考・表現) オ 表現の工夫やその効果について、読み手からの助言を踏まえ、自分たちのポスターの良い点や改善点を見いだしている。(情報収集・判断)	観点を明確にして、文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	〔言葉の特徴や使い方に関する事項ーア〕 相手の意見を変えるためのポスターを書き、表現の効果に気づいている。(知識・技能) (情報の扱いに関する事項ーイ) 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係について理解している。

6 指導と評価の計画（全11時間）

次	学習内容	評価（○は主に「指導に生かすための評価」、●は主に「記録するための評価」）					
		関	書	読	知	評価規準 (評価方法)	★適用する 資質・能力
一 (4)	<p>○世の中のいろいろな問題を解決していくには、反対意見を持つ人を説得できるだけの言葉の力を身に付ける必要があることに気づかせる。</p> <p>・(例) 宇都宮黙霖が吉田松陰と手紙のやりとりをし、松陰の考えを変えさせ明治維新につながった。</p> <p>○言葉には相手の考えを変え、行動を促す働きがあることを理解する。</p>					<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>●(振り返りシート) ポスターセッションに挑戦しようという意欲を持つ。</p>	<p>★【挑戦・探求】 (資質・能力ルーブリック)</p>
	<p><b>挑戦問題</b> 相手の意見を変える、ポスターセッションに挑戦しよう。</p> <p><b>課題の設定</b></p> <p>○パワーポイントを見て、フロンガスの問題を理解し、これから読む説明文の予備知識を得る。</p> <p>・本単元の目標を資質・能力ルーブリックで理解する。</p> <p><b>情報の収集</b></p> <p>○なぜフロンは規制されることになったのか、読み取って理由をまとめる。</p> <p>○フロンを規制することについて、すぐ実行されなかった理由を読み取ってまとめる。</p> <p><b>予習課題</b></p> <p>社会には、どのようなグレーゾーンの課題があるかを、新聞や本、インターネットなどを使って調べてくる。</p> <p>○筆者の思いを読み取り、社会にあるグレーゾーンの事柄について、関心がある事項を挙げる。</p>	○			○	<p>(読む)</p> <p>○フロンの功罪を適切に読み取り、理由をまとめることができる。</p> <p>○すぐに規制できなかった理由をまとめている。 (ノート、振り返りシート)</p>	

	<p><b>整理・分析</b></p> <p>○「哲学的思考のすすめ」と比較して表現の特徴を整理し、自分の意見を分かりやすく効果的に伝える工夫は何かを考えよう。</p>		◎		<p><b>【読むこと】</b></p> <p>●観点を明確にして、文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考え、指摘することができる。</p>	<p>★【知識・技能】 (資質・能力ループリック、ノート)</p>
	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>○整理・分析した筆者の表現の工夫を、「虎の巻」にまとめよう。</p> <p>・意味段落毎に分かりやすい小見出しをつけること。反対の立場を加え、多様な意見に触れていること、を挙げる。</p> <p><b>予習課題</b></p> <p>自分が考えたいグレーゾーンの課題で、どのような意見や考えがあるかを調べてくる。</p>		◎		<p><b>【読むこと】</b></p> <p>○文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考え、指摘したものを、虎の巻にまとめている。 (虎の巻)</p>	
一 (7)	<p><b>課題の設定</b></p> <p>○どのようにしてポスターセッションが行われているか、その特徴を理解する。</p> <p>・DVDで実際のポスターセッションを見て、これまでの発表のスタイルとの違いを確認する。</p> <p><b>情報の収集</b>      <b>整理・分析</b></p> <p>○グループごとに課題について、どのような考えや意見、それについての根拠となる資料を収集する。</p> <p>○ポスターの構成を考える。</p> <p>・ポスターの中に反対の立場や意見を必ず入れること、ことわざや故事成語を用いて記事をまとめる。</p>	◎			<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <p>●(振り返りシート) ポスターセッションに挑戦しようという意欲を持つ。</p>	<p>★【挑戦・探求】 (資質・能力ループリック)</p>
			◎		<p><b>【書くことウ】</b></p> <p>●根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたりして、ことわざや故事成語などを用いることができる。</p>	<p>★【思考・表現】 (ポスターセッションの記事、資質・能力ループリック)</p>
本 時	<p><b>予習課題</b></p> <p>他グループの下書きと、自分たちの下書きを比較し、それぞれのポスターの良い点や改善点を考えてくる。</p> <p>○他グループのポスターと比較し、それぞれのポスターの良い点や改善点を指摘し、意見交流を行い、改善案を考える。</p>		◎		<p><b>【書くことオ】</b></p> <p>●表現の工夫やその効果について、読み手からの助言を踏まえ、自分たちのポスターの良い点や改善点を見いだすことができる。</p>	<p>★【情報収集・判断】 (ノート、資質・能力ループリック)</p>

<p>○ポスターセッションの練習をしよう。        ・発表の仕方を復習して，練習に取り組む。</p>					
<p style="text-align: center;"><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>○グループに分かれて，ポスターセッションをしよう。</p>			○	<p><b>【言語に関する事項】</b>        [言葉の特徴や使い方に関する事項ーア]        相手の行動を変える，ポスターを書いている。(ポスター・振り返りシート)        (情報の扱いに関する事項ーイ)        意見と根拠，具体と抽象など情報と情報の関係について理解している。(ポスター，振り返りシート)</p>	
<p>◎振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートのループリックを見て，本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。</li> <li>・ワークシートを提出し，教師の評価を受ける。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>★【知識・技能】</li> <li>★【情報収集・判断】</li> <li>★【思考・表現】</li> <li>★【挑戦・探究】</li> <li>★【責任・使命】</li> <li>★【協力・協働】</li> </ul> <p>(資質・能力ループリック)</p>

7 本時の学習（8時間目／全11時間）

- (1) 本時の目標  
表現の工夫やその効果について、発表者の良い点や改善点を見付けることで、自分のグループの改善案を考えることができる。
- (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する児童への支援（◆） 発問（○） 予想される生徒の反応 [ ]	評価規準〔観点〕 教科の評価の観点（○） 資質・能力（★） （評価方法）
<p><b>1 挑戦問題の提示と前時までの振り返りの確認</b> ・本時のめあての確認</p>		
<p>めあて 「各グループのポスターを比較し、それぞれの良い点や改善点を指摘し、自分のグループの改善点を見付けよう。」</p>		
<p>本時の目標とS評価について理解する。</p>		
<p><b>2 課題意識を持つ。</b> <b>課題の設定</b></p>		
<p>○説得力のあるポスターにするための視点を持ち、友だちのアドバイスを聞いて、自分たちのポスター作成の参考にする。</p>	<p>・読むときの視点について、ICTを用いてしっかりと確認させる。（反対意見を述べること。読み手を引きつけるタイトルや小見出しを付けること。ことわざや故事成語を用いること。反対意見を載せること。表やグラフを用いること。構成を工夫すること。）</p>	<p>○書くこと一オ ★情報収集・判断 ループリック S 表現の工夫やその効果について、読み手からの助言を踏まえ、自分たちのポスターの良い点や改善案を考えることができる。</p>
<p><b>情報の収集</b>      <b>整理・分析</b></p>		
<p><b>3 全体交流</b> ○比較して、発見した良い点や改善点について、考えを持っている人の意見を聞く。意見には根拠を付けて伝えるようにする。 ・発表をしなかった人は、感心した発表について、感想や気づきを発表する。</p>	<p>◆生徒の発表について、上記のどの視点を用いているか、カード化したものを張り出し、視覚支援を行う。</p>	<p>A 表現の工夫やその効果について、読み手からの助言を踏まえ、自分たちのポスターの良い点や改善点を見付けることができる。 B 表現の工夫やその効果について、相手や自分のポスターの良い点やわかりにくい点を見付けることができる。 C 表現の工夫やその効果について、相手や自分のポスターの良い点やわかりにくい点を見付けることができない。</p>
<p><b>4 友だちの発表を聞いて、各グループを改善すべき点について話し合う。</b></p>	<p>・〜〜〜という具体的な事柄に対して、○○○ということわざが適切に使ってあったので、記事の内容がわかりやすくなっていた。 ・私たちのと比較して、小見出しが読み手を引きつけるもので、まねしたいなと思いました。 ・賛成と反対と載せてあったけど、なぜ、賛成の意見になるのかの根拠がなくてわかりにくくと思いました。</p>	
<p><b>まとめ</b></p>	<p><b>生徒のまとめの例</b> ・自分たちの意見に、根拠になる資料がないことがわかった。 ・反対の意見を打ち消す自分たちの意見が弱かったので、もう一度資料を集めたい。 ・ことわざが○○○の方がよいという指摘があった。確かにこの場合は、〜〜〜を訴えたいので、○○○の方が適切だと思った。改善したい。</p>	
<p>・本時の振り返りをする。 <b>復習課題</b> ・改善点を直してくる。</p>		